

【るもい農業情報広場】

令和5年6月22日

R5 - 6月臨時号

QRコードを読み取って
アクセス!!!

今月の技術対策 (麦類編)

留萌農業改良普及センター

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



水稲・園芸編も
HPで公開中!

病害虫の発生は、多くの場合、気象条件に影響されます。病害虫により個々の発生条件は異なりますが、害虫は概して温度が高くなり乾燥状態で活動が活発になる傾向があります。

現在、普及センター本所管轄内の小麦栽培ほ場では、主に下記の害虫が見られます。少雨傾向で推移しており、今後は気温が上昇する予報です。害虫の発生状況に注意してください。

- 1 葉を食害し光合成を阻害する害虫
「ムギクロハモグリバエ」「ムギドロオイムシ（ムギクビボソハムシ）」
- 2 茎の中を食害し白穂や出穂不能にする害虫
「ムギキモグリバエ（ムギカラバエ）」
- 3 稔実不良となり子実が細くなり減収を招く害虫
「アブラムシ類（3種類）」

* ほ場により発生状況が大きく異なります。トラクターからおりてほ場に入り確認し、密度が高い場合は殺虫剤散布を検討ください。

* 殺虫剤散布が必要と判断される場合は、最新版の「農作物病害虫防除および防除剤使用ガイド」を参照しての薬剤を選択して下さい。

**農薬散布にあたっては「農作物病害虫防除および防除剤使用ガイド」
の最新版(黄色い冊子)を参照して、適正使用に努めてください。**